



基本構想・基本計画まとまる

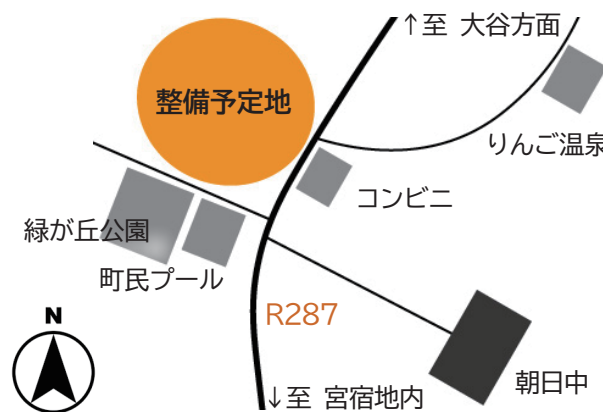
～整備用地は緑が丘公園北側農地に決定～

令和10年4月の開校に向け準備を進めている義務教育学校について、町はこのほど「基本構想・基本計画」を策定、公表しました。

この計画は、学校づくりを進める上での基本的な指針となるもので、整備用地や建物の規模、想定される児童生徒数、学校基本コンセプト、概算事業費、今後のスケジュールなどをまとめています。

このうち、整備用地については、緑が丘公園北側の土地を選定。町は当初、早期に事業着手できる町有地の朝日中周辺を予定地とし、昨年10月から測量調査等を実施しましたが、敷地東側の急傾斜地による建築制限や国の補助金面が問題となり、今年2月の総合教育会議で再検討することとしていました。

その後、学校長やPTAの役員等で構成する「義務教育学校創設準備委員会」において、下記の選定基準で



複数の候補地を評価し、緑が丘公園北側を選定。6月の総合教育会議で正式に決定しました。

用地に変更があったものの、開校時期については変更しないこととし、令和10年4月開校を目指して、準備を進めていきます。

【候補地の選定基準】

区 分		内 容
1	自然災害に対する安全性	・洪水、地滑り、土砂崩れ等の自然災害に対して安全
2	アクセス・通学の利便性など	・主要道路との接続性及各地区からのアクセス環境が良い ・通学の利便性
3	土地の広さ使いやすさ、拡張性	・土地の広さや使いやすさ、拡張性
4	経済性、費用面	・かけた費用（コスト）に対して、教育効果が期待できる
5	学校教育と社会教育との連携、コミュニティ・スクール、まちづくりへの貢献度	・町民が日常的に活用しやすく、魅力あるまちづくりが期待できる ・社会教育施設や社会体育施設として活用しやすい場所
6	災害時の避難施設から考えた立地や広さ	・災害時の避難施設として十分な機能（広さ・アクセス）
7	その他	・周辺の施設や自然環境を学校教育に活用しやすい ・学校建設が周辺施設や児童生徒への迷惑にならない

新しい義務教育学校はこんな学校をめざします

1. 学校基本コンセプト

朝日で はじまる「きょういく」と 未来へ つながる「また明日」

このコンセプトの目指すところは、“**明日も行きたい学校**”です。これまでの朝日町の教育の成果と課題を総括しながら、「未来思考*」に重点を置いて決めました。

朝日ではじまる「きょういく」とは

教育のスタートを朝日町で、朝の光とともに「今日行く」という子どもたちの心を表現しています。

毎日学校に通うことは当たり前のことのように、時代の変化とともに簡単ではなくなっているのが現状です。子どもや保護者、教職員など、学校に関わるすべての人が最も大事にすべきことを「きょういく」としました。朝日町の学校は、誰一人取り残さない教育を実現する「今日行く」場所であることを目指します。

未来へつながる「また明日」とは

子どもたちが学びを楽しみ、友だちや地域の方々と「また明日」と交わす姿を表現しています。

その土台には、未来へつながる学びがあります。ふるさと学習や国際理解教育を中心とした9年間の学びは、子どもたちの世界観を広げます。

子どもたちが激しく変化する社会に主体的に向き合い、自ら未来を切り拓いて、たくましく生きる力を育みます。

***未来思考**：物事を考える視点を10年以上先の未来に置き、不確実で多様な可能性を持つ未来を前提にして現在を客観視することによって、新たな気づきを得て、今起こしたいアクションを決める思考方法。

2. 教育課程編成の基本的な考え方（原案として検討を進める）

教育課程	前期課程						後期課程		
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ステージ	ホップ				ステップ			ジャンプ	
目指す姿	【自分や友だちを 大切に する子ども】				【思いやりの心で、相手の 立場になって行動できる 子ども】			【自他を愛し、感謝の心で 社会に貢献しようとする 子ども】	
指導形態	学級担任制				教科担任制＊				
部活動					部活動（５年生から参加可能）＊				

***教科担任制**：教員が専門科目ごとに授業を担当し、教科の専門性を生かした授業を行う指導形態。5年生から教科の学習が高度化することや発達の段階を踏まえて、一部教科担任制を取り入れます。また、それぞれの教科の学習に適した環境を整備します。

***部活動参加**：5年生から体験型を含む部活動への参加を可能にします。過度な活動にならないように配慮することを前提とし、先輩のアドバイスを受けたり、指導者から専門的な指導を受けたりすることにより、部活動を早めに体験することができるシステムを検討します。



義務教育学校整備基本構想・基本計画の概要

3. 児童生徒数（令和10年度予想）

児童数164名 生徒数94名 合計258名

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
児童生徒数	30	15	31	31	30	27	27	39	28	258
通常学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
特別支援学級数	前期課程3（うち言語通級1）						後期課程2			5

4. 施設概要

項目	計画概要
計画地及び面積	朝日町大字四ノ沢字大道下1015ほか 総面積：46,369㎡
生徒数（開校時）	258人
学級数（開校時）	14学級（普通学級9学級、特別支援学級5学級）
開校時期	令和10年（2028年）4月
総事業費（概算）	60億円（税込み）を上限とする。 総事業費には用地費、造成費、インフラ整備費、建築工事費、設計費、備品購入費、引っ越し費用等を見込む。解体費については統合対象校1校分を含む。
整備予定施設 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	【屋内施設：想定延床面積 約9,200㎡】 ・校舎：鉄筋コンクリート2階建て ・武道場：柔道場、剣道場各1面ずつ ・給食調理室：最大調理食数300食 ・放課後児童クラブ（校舎併設） ・屋内運動場（大）：バスケットボールコート2面、ステージほか ・屋内運動場（小）：バスケットボールコート1面、ステージなし 【屋外施設・駐車場等：総面積 約13,355㎡】 ・グラウンド：300mトラック、直線100m ・テニスコート：2面分 ・用具庫：体育用具、部活動用具 ・一般車駐車場：150台 ・スクールバス車庫 ・その他（遊び場、駐輪場等）
その他 ※現時点で検討している内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。	・図書館、体育館の地域開放（町立図書館、町民体育館機能を兼備） ・音楽室、図工室、家庭科室の地域開放 ・給食は自校炊飯方式を想定 ※プールは既存の町民プールを、野球場は緑が丘公園を利用することとし新規整備しない。また、夜間照明も設置しない。



5. 事業スケジュール

事業スケジュールについては、以下のとおりです。令和10年4月の開校を目指し、具体的な検討を進めています。なお、今後の手続き等の進捗状況により、変更になる可能性があります。

工 種	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1 基本構想・基本計画					開 校 予 定
2 測量・地質調査					
3 用地交渉・用地買収					
4 用地造成設計・許認可申請					
5 建築・外構設計					
6 用地造成工事					
7 建築工事					
8 外構工事					
9 引っ越し・開校準備					

学校名を募集中

このたび、義務教育学校の整備用地をはじめとした基本構想・基本計画がまとまったこと受け、学校名を募集します。たくさんのご応募をお待ちしています。

◆期間 9月16日（月／祝）まで

◆方法 左下のQRコードの応募フォームから応募いただくか、8月9日付で全戸配布したチラシ（裏面が応募用紙）へ必要事項を記入し、役場、創遊館、西北部公民館に設置の応募箱へ投函ください。詳細は右下のQRコードを読み取るか、チラシをご覧ください。



応募フォーム



応募要項等

パブリックコメントを募集中

義務教育学校整備基本構想・計画について広くご意見をいただくため、パブリックコメント*を募集しています。

◆期間 8月23日（金）まで

◆方法 ホームページ上または、教育委員会、西北部公民館に配置の本計画を閲覧のうえ、指定の様式に必要事項を記入し、提出ください。詳細については下記QRコードを読み取るか、8月1日付の広報あさひまちお知らせ板をご覧ください。

*パブリックコメントとは
「意見公募」のこと。行政機関が重要な計画等を策定する際、案を公表し、広く意見や情報を募集する仕組み。



応募要項等

問合先

朝日町教育委員会 義務教育学校創設準備室
☎ 67-3302 / junbi@town.asahi.yamagata.jp

朝日町義務教育学校

検索